



# 出口王仁三郎全集

復刻版

全八巻

天声社

[各巻]定価: 本体¥2,667+税 / ¥2,800 (税込)

全8巻定価

本体¥21,336+税 / ¥22,400 (税込)

【著者出口王仁三郎・略年譜】



明治四年(一八七二)旧七月二日(八月二七日)丹波国桑田郡穴太村(現・京都府亀岡市曾我部町)の農業上田吉松の長男として生まれる。幼名喜三郎。同一六年小学校の代用教員として教鞭をとる(一二歳)。三一年(一八九八)旧二月九日から一週間、郷里高熊山で修行(二六歳)。一〇月綾部で出口

なお(大本開祖)と会見し、翌年大本入り(右、写真)。同三年、なおの未女すみ子(大本二代教主)と結婚。四年雑誌「直霊軍」創刊。大正六年機関誌「神霊界」創刊。九年「大正日日新聞社」経営。一〇年二月第一次大本事件のため京都未決監に収容(四九歳)。六月責付出獄。一〇月「霊界物語」口述開始。大正中期以降、膨大な教典類を著述し、大本の教義と組織を整える。一二年国際共通語工スベラント採用、中国道院と提携。一三年、綾部をたち蒙古(現・中国北部)(八五二歳)。満蒙各地で熱烈に迎えられる。一四年世界宗教連合会を北京で発会。人類愛善会創立。七月大審院で従来判決は破棄され、昭和二年大赦令により第一大本事件解消。愛善主義による各国精神運動団体と提携。昭和九年昭和神聖会発会、賛同者一千万運動を展開。一〇年二月第二次大本事件勃発。松江で拘引(六四歳)。同一年起訴。一五年京都地裁で判決。治安維持法違反および不敬罪として無期懲役を宣告され、控訴。一七年七月控訴審判決。治安維持法は無罪。八月妻すみ子らと保釈出獄し六年八月(八月)で亀岡へ。楽焼制作を始め、制作数は三千をこす。一〇年九月大審院判決。治安維持法違反は無罪と確定し、翌一〇月大赦令により不敬罪も解消。綾部・亀岡両町から大本聖地の返還。事件による損害に対する国家補償を放棄。二二年、大本は再発足。二三年(一九四八)一月十九日昇天。享年七六歳。翌年、王仁三郎作楽焼茶盤が「耀盤」として一般に紹介され、昭和四七年には海外作品展がパリ・セルヌスキ美術館を皮切りに三年三カ月、欧米六カ国一三会場を巡る。優れた作品を残した芸術家としても、世界的な脚光を浴びた。

天声社

〒621-0815

京都府亀岡市古世町北古世 82-3

電話 0771-24-7523 (代)

FAX 0771-25-3655

振替 01010-9-25757

<http://www.mmjp.or.jp/tenseisha/>

「天声社」は出口王仁三郎が創業した印刷・出版社です。王仁三郎は明治四十二年(一九〇九)に最初の機関誌を創刊。大正二年には教団大本本部内に印刷所を設け、同一年、本内出版局を「天声社(天聲社)」と命名。その後「天声社」は教団から分離独立し、大本文獻一切を印刷刊行しました。第二次大本事件解決後の昭和二十七年(一九五二)、「天声社」は株式会社として再発足し、今日も大本文獻一切を印刷刊行しています。

キリトリ線

天声社刊「出口王仁三郎全集」全8巻の購入を申し込みます

ご芳名

TEL

ご住所 〒

書店名

申込書

# 出口王仁三郎全集 (全8巻)

激動の大正・昭和を揺るがした「巨人」の教え いま光彩を放つ

## 60年ぶりの 待望の復刊!



黄金閣(言霊閣) 第二次大本事件前・綾部

○第一巻「皇道編」、第二巻「宗教・教育編」、第五巻「言霊解 其他」は、大正十年以前の「神霊界」誌をはじめとする大本機関誌・新聞等で発表されたものを編集・再録。

○全巻の構成は、出口王仁三郎の代表的な論説・随筆(第一巻・第二巻)に始まり、口述著書『霊界物語』(大本教典)からの抜粋(第三巻・第四巻)、神示の言霊学にもとづく記紀等の言霊解(第五巻)、大正十三年甲子年、第一次大本事件の責付出所の身でありながら、世界平和のために蒙古(現中国北部)に渡った入蒙の壮挙(第六巻)、生涯二十万首といわれる詠草から選ばれた歌集(第七巻)、最終巻は自身の執筆による半生の記(第八巻)。全八巻を通して、出口王仁三郎の思想の真髓がうかがえる構成になっている。

○当時、萬有社(東京)が第四巻までを発行。第五巻以降は天声社が印刷発行している。

○復刻にあたっては、原本を忠実に復元することを旨とし、本文はすべて写真複製した。



四六版(B6版)各冊六〇〇余頁

- ◆第一巻「皇道編」 ISBN 4-924501-03 7月30日刊行予定
- ◆第二巻「宗教・教育編」 ISBN 4-924501-04 9月2日
- ◆第三巻「霊界物語」(上) ISBN 4-924501-05 10月8日
- ◆第四巻「霊界物語」(下) ISBN 4-924501-06 11月8日
- ◆第五巻「言霊解 其他」(其他II随筆等) ISBN 4-924501-07 12月8日
- ◆第六巻「入蒙記 其他」(其他II水鏡、月鏡) ISBN 4-924501-08 1月8日
- ◆第七巻「歌集」 ISBN 4-924501-09 2月8日
- ◆第八巻「わが半生の記」 ISBN 4-924501-10 3月8日

### 復刻版刊行について

『出口王仁三郎全集』全八巻は昭和九年五月六日、東京の萬有社から出版された天声社の創業書、出口王仁三郎大本教祖の初の全集です。当時、下中弥三郎氏(平凡社創業者)らが企画し、大本教団にその出版を懇請、昭和十年十二月までに全巻が完結(第五巻以降は天声社刊)。広く一般に頒布されました。しかし全巻完結後もなく、近代史上類例のない大宗教弾圧・第二次大本事件が勃発し、教典など多くの出版物が押収、焼却処分されました。

昭和二十一年、大本は十年にわたる弾圧から青天白日の教団にかけ、再発足を果たしましたが、事件前に出版された大本書籍の多くは失われました。そのためこの全集も、今日では一部の原本を残すのみとなっていました。しかし王仁三郎の論説・随筆等が多数収録されている内容から、再刊を願う教団内外からの要望は強く、今回はその要望にこたえる形で復刻刊行することになりました。とりわけ平成十年は、王仁三郎昇天(昭和二十三年)から五十年を

迎えたため、記念出版としました。

巨人と称され、聖人とたたえられた。凡俗の風格をもあわせもった王仁三郎は、「人群万類救済」の大道を実践した大人格者でした。こうした王仁三郎の全貌を正しく理解することは、けっして容易なことではありません。また残した膨大な著述の文言には、多義の含蓄があります。昇天後半世紀を経てなお「出口王仁三郎」を扱った一般書籍はあとをたたくせんが、必ずしもすべてが的を射た記述とはいえないのも、そのあたりに一因があると思われる。むしろ今日の興味本位なオカルトブームは、王仁三郎の有した霊的能力にのみ関心を集め、皮相な理解が進められていることを遺憾とするものです。

政治、経済、宗教、文化、教育……あらゆる分野が行きつまずき、世紀末的な様相を呈する現代にあつて、世の指針となる内容の本質を、「この著述からくみとっていただくことを心より願うものです。」